

## 令和7年度の学校経営方針

### I. 学校教育目標

「みんなと仲よくする子ども」〈豊かな心の育成〉

「心とからだをきたえる子ども」〈健やかな体の育成〉

「進んで勉強する子ども」〈学ぶ力の育成〉

「仕事をやりぬく子ども」〈勤労意欲〉

### II. めざす学校の姿

「つよい心 やさしい心 えがおあふれる 元町北小」(全校みんなの合言葉)

### III. 重点目標

## 「自立と共生する心の育成」

◇笑顔あふれる あたたかい学校の創造◇

「A=よい B=十分 C=不十分」

観点	評価項目	自己評価		学校関係者の評価	
		保護者	職員	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
豊かな心の育	友達を大切にし、思いやりの心が育っている。	A	A	A	A
	自分から進んで挨拶をする習慣が身に付いている。	A	B	A	A
評価と改善	<p>自治的な活動を通じ、児童が挨拶の意味を考えることで、受動的だった挨拶に主体的・対話的な変化が見られた。互いに気持ちを交わす心地よさを実感し、校内の挨拶の質・量ともに向上している点は大きな成果である。</p> <p>今後は「振り返り」の場をさらに充実させ、個々の変容を丁寧に価値付け、挨拶の定着や心通うあたたかい学校にするため、他学年や地域へ広げるなど、活動の場を広げ、継続的な関わりを深化させていく。</p>				

健やかな体の育成	休み時間や体育の時間に、進んで体を動かしている。	A	A	A	A
	望ましい生活習慣（食事・運動・睡眠）が定着している。	A	C	A	B
	家庭で決めたルールを守って電子機器（スマートフォン・タブレット・ゲーム機等）を使用している。	A	C	A	B
評価と改善	<p>保護者との評価の違いがある。全体的に家庭では健やかに過ごすことができている。校舎改築に伴う運動場不足に対し、元村公園やアスファルト面の活用、体育館での種目別週間の設定により、効率的に運動量を確保できた。</p> <p>来年度は、グラウンドの造成が終わるので、さらなる活動の質の向上が課題にある。また、職員からは少しではあるが望ましい生活習慣になっていない児童やネットについて使用方法などに心配がある児童が気になっており、外部講師と連携した指導を継続し、保護者と共に情報モラル意識を高め、心身ともに健やかな児童の育成に努めていきたい。</p>				
学ぶ力の育成	進んで学習に取り組んでいる。（家庭学習なども含む）	A	A	A	A
	隣の人やグループの人、学級のみんな、家族・先生などに向けて、自分の考えを伝えようとしている。	A	A	A	A
	隣の人やグループの人、学級のみんな、家族・先生などの話をしっかり聞こうとしている。	A	A	A	A
	困ったことや分からないことがあったときに、自分で調べたり、友達や先生に質問したりしている。	A	A	A	A
評価と改善	<p>研究部を中心とした全職員での研修体制により、学び合う組織が定着してきた。「一人一実践」を通して授業の成果と課題を明確に吸い上げる仕組みが機能し、児童の「自ら考え判断し、表現すること」を実感させる授業改善が着実に進んでいる。</p>				

	<p>今後は、この校内での成果を家庭へより効果的に還元することが課題である。学習内容の具体的な可視化や、児童の優れた取り組みを学年全体で共有する仕組みを強化したい。学校と家庭が連動して学習意欲を喚起することで、児童が自立し学習に向かう態度の育成をさらに推進していく。</p>				
<p>勤 労 意 欲</p>	<p>委員会活動や係活動において、責任をもって最後まで取り組んでいる。</p>	A	A	A	A
<p>評 価 と 改 善</p>	<p>係活動や委員会において、児童が自ら企画・運営する場面を意図的に設定したことで、主体的に動く姿が見られるようになった。特に「元北祭り」等の自治的活動は、共生の精神を育むとともに、学年の枠を超えた達成感を共有する貴重な機会となっている。</p> <p>今後は、これらの活動を単なるイベントで終わらせず、学校生活全体を支える自治能力へと高めるための振り返りをより充実させたい。児童の「自立と共生する心の育成」を目指し、さらなる主体性の発揮と学校への帰属意識の醸成に努めていく。</p>				
<p><b>【ご意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的によい評価</li> <li>・ 電子機器の取り扱いについては、まだ守られていない</li> </ul> <p>今後、家庭でのコントロールができるといい</p>					